

統廃合に伴う新たな学校児童数(推計)と課題等について

□東小学校と西小学校の校舎を使用し、中央小学校を廃止した場合

(作成基準日:平成23年10月1日)

年度	区分	東小学校(第一中学校学区)							西小学校(第二中学校学区)							計						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H25	人数	42	44	51	48	64	51	300	48	55	54	57	64	77	355	90	99	105	105	128	128	655
	クラス	2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		4	4	4	4	4	4	
H26	人数	50	42	44	51	48	64	299	42	48	55	54	57	64	320	92	90	99	105	105	128	619
	クラス	2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		4	4	4	4	4	4	
H27	人数	46	50	42	44	51	48	281	50	42	48	55	54	57	306	96	92	90	99	105	105	587
	クラス	2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		4	4	4	4	4	4	
H28	人数	38	46	50	42	44	51	271	44	50	42	48	55	54	293	82	96	92	90	99	105	564
	クラス	2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		4	4	4	4	4	4	

□統廃合に伴う課題等

- 1)中央小学校の児童が、東小学校に6割、西小学校に4割の割合で移動となる。学校移動人数は、300人程度となる。
- 2)東小学校区で、通学距離が2.5kmを超える地区は発生しないが中央小から移動する多くの児童の通学距離は伸びる。
- 3)西小学校区で通学距離が2.5kmを超える地区は、宮園、円山地区、敷島内ニチナイ川以西である。
- 4)これまで中央小学校区であった、宮園、円山地区児童への通学路の安全対策が求められる。(特に冬期間)